

# ロングアドベンチャー

8月2日(木) ~ 8月7日(火)

IN 兵庫県立兔和野高原野外教育センター

	午前	午後	夜
1日目	施設に向けて出発	仲間作りゲーム 表札作り	振り返り スタンツ練習
2日目	登山	登山 野外炊飯	振り返り スタンツ練習
3日目	野外炊飯 秘密基地づくり	秘密基地づくり 宿題タイム	振り返り 星空就寝
4日目	川遊び	川遊び 食材買い出し	振り返り スタンツ練習
5日目	グループタイム	グループタイム	キャンプファイアー
6日目	施設清掃 名札作り	施設を出発 解散式	



一日目： 夏日和の中開催されました。バス車内でしっかりと自己紹介やグループでの仲間作りをしていてくれたので、現地に到着した時にはすっかり皆、仲良くされていました。到着後、昼食を取り、5泊お世話になるキャンプ場に向かいました。荷物をテントに入れた後、仲間作りゲームとテントの表札作りを行いました。仲間作りゲームは既に仲間意識が出来ていたので、どちらかという確認をするといった感じのゲームでした。表札作りは自分のグループ名を考え、名前や絵を書いていました。夕食後は5日目の夜に行うキャンプファイアの出し物を考えることと振り返りをしました。初日から積極的に全員と接して活動に取り組んでおられました。



二日目： 朝食を済ませ、午前から昼にかけて登山を行いました。地図を頼りにグループで話し合いながら進んでいる姿からそれぞれのカラーが出てきているのが分かりました。途中、カエルや虫、動物を見たとゴールでは沢山の報告をもらいました。距離はそんなに長くなかったですが、全員新しく、面白い発見をされたと思います。夕食は野外炊飯を行いました。メニューは『タコライス』です。具材セットからではなく、挽き肉、玉ねぎといったように原材料から作りました。もちろんその結果、味は全て違い、タコライス!! というグループからタコライス!? というグループまでありましたが、美味しいと言いながら食べられていました。協力をするに対して意識が大分と向いてきました。



三日目： この日は三食全て野外炊飯という日でした。朝食はパックドッグ、昼食は炊き出しでスパゲッティ、夕食はオムソバを作りました。三食共、ほぼ残さず完食することができました。この裏にはグループで話し合い、量の調整を行い、みんなで食べきるという事をしておられました。この考え方は野外炊飯だけではなく、食堂の時でも通っていたので、根付いていたことに嬉しく思いました。野外炊飯以外のプログラムは秘密基地を作りました。ブルーシートとロープを使って作りました。グループで相談しながら見えない所や坂の途中、林の中など個性豊かな場所で作られていました。形も様々で、妙に天井が低いものや、木や枝を沢山並べカモフラージュされていました。その秘密基地で宿題をされていたのですが、どことなく普段とは違うので、嬉しそうな雰囲気は感じ取れました。夜は草原の広場にブルーシートを広げ、みんな星の下で寝ました。これがかなりの好評で「またしたい!!」という声が沢山聞けました。



四日目： 午前から川遊びに向かいました。距離にして片道約5Kmの道のりを歩いて向かいました。この頃にはグループもある程度形成されており、道中終始賑やかなところや、途中話し合いをしているところ、ひたすら声を掛け合っているところなど、それぞれの想い思い歩かれていたと思います。川で昼食を取り、存分に楽しまれていました。遊び方を次々と考案してくることはさすが子どもだな～、と感心しました。川遊び後は近くのスーパーに向かい、五日目の昼食の買い出しをしました。各グループ決められた予算から見事な料理を考え、食材を購入されていました。明日の料理が楽しみです。キャンプ場に帰ってくる頃にはみんな疲れ果てており、この日はすぐに就寝されていました。



五日目： 日中はグループごとのフリータイムでした。が、ほとんどのグループはキャンプファイアの出し物の練習をされていました。様子を伺うと、揉めて全く練習が進まないグループや、「どうする？」ばかりのグループ、トントン拍子に進むグループがありましたが、それでも前に進む意思は全員から伝わっておりました。昼食作りは和気あいあいと自分達で作りたいかかったものを料理されており、中には不思議な料理もありましたが、有意義に過ごされていたと思います。夜になると、出し物に対する緊張がどのグループからも出てきており、夕食の時もいつもより早く済ませ、練習に励んでいました。結果、キャンプファイアでは、どの出し物も素晴らしい出来で、笑いと感動を作り上げました。本当に一人一人が輝いていました。



六日目： 朝から片付けを協力分担して行いました。寝袋を干してたたんだり、炊飯場の食器やかまど、流しの清掃を行ったり、テントやトイレの清掃を行ったりと、自分達がお世話になった箇所を誰一人文句言わず、真剣に取り組んでいた姿は初日から思うと素晴らしい姿でした。本当に成長されたと思います。清掃後は、六日間お世話になった表札をグループ人数分切り分け、名札にしました。首からかけて皆嬉しそうに、そして誇らしげにされていました。昼食を済ませ、施設にお礼を言った後、バスで施設を後にしました。車内でも賑やかで、最後の最後まで元気いっぱいだった皆さんでした。



### <キャンプ総括>

今回のロングアドベンチャーは、プログラム重視ではなく、『グループワーク』を重きにして活動を取り組みました。話し合い、協力、分担、団結とグループ形成に必要な要素がありますが、それを得るために、各グループ様々な問題や課題がありました。それらを自分達の手で乗り越え、答えを出すにつれ、確実な成長がありました。グループのカラーやアプローチは全く異なっておりましたが、向かう先は同じだったので、グループの垣根を越えて共有し合う場面が幾つもありました。このキャンプを経て、学んだこと、知ったこと、体験したことは山ほどあると思います。それらを持ち帰っていただいて今後の生きる力に変えていってもらえれば幸いです。 (竹中 哲郎)

